



自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして



花王・教員フェローシップ

生物多様性支援プログラム
2013年度 募集要項



EARTH WATCH



フィールドワークの体験を 教育現場で生かしていただくために。

海外の野外調査プロジェクトへ ボランティアとして参加する機会を提供します。

花王株式会社と特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパンの協働で、第10回「花王・教員フェローシップ」を実施いたします。「花王・教員フェローシップ」は、夏休み期間1～2週間程度、先生方を生物多様性保全に向けた海外の野外調査にボランティアとして派遣し、その体験を教育の現場に活かしていただくプログラムです。米国に本拠地をおく国際NGOアースウォッチの日本支部アースウォッチ・ジャパンがボランティア先のプロジェクトを選定し、花王が支援いたします。

環境教育のお手伝いを通して 積極的に社会貢献活動を推進しています。

花王は、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに社会貢献活動を推進しています。その中でも、特に次世代を担う子ども達を育てるキーパーソンである学校の先生方を応援するプログラムこそ、最も大切な社会貢献活動ではないかと考えています。

このプログラムは、環境教育の実践者である先生方の、異文化の中での野外科学調査の体験を支援するものです。一流の科学者のもと、野外調査を通じて得た、生物多様性への理解や自らの感動や体験を、地域や学校で特色ある環境教育の実践に結びつけていただくことを目的としています。

さらに、科学の専門家や参加者とのネットワークづくりや異文化交流、多様性の理解など環境教育の視点だけでなく、日常生活の中では得ることのできない多くの経験を、教育の現場で子ども達へ伝えていただきたいと思っております。



地球上の多様な生命の保全のために科学的野外調査と教育を実践しています。

アースウォッチは、1971年にアメリカのボストンに設立された、野外調査へのボランティア派遣活動においては、世界で最も古く、最も信頼されている国際NGOです。世界各地で行われている生態系にかかわる野外調査を「資金と人手」の両面で支援。一般市民がボランティアで野外調査に参加し、世界一流の科学者の手ほどきを受けながら「地球のいま」を体感する活動をおこなっています。

アースウォッチの最大の目的は「科学の目」で地球の変化を調査・記録し、未来のために必要な知の基盤をつくることにあります。外部の専門家による厳しい審査を経て認定された年間約60の野外調査プロジェクトを支援し、研究者との野外調査活動の一連のプロセスをきめ細やかに管理、運営しています。

欧米アースウォッチでは、企業からの資金的サポートを受け、毎年500人以上の教員をプロジェクトに派遣。この体験に裏打ちされた授業は、子供たちにより大きな感動をあたえ、実践的な科学の理解力を高めるために最適であるという報告が多くの教員から出されています。

アースウォッチ・ジャパンは、1993年にアースウォッチの世界4番目の拠点として発足しました。「花王・教員フェローシップ」では、野外調査の実体験および科学的調査手法の取得、科学の専門家や海外の参加者などとのネットワークづくりや異文化交流、非日常的な体験を通じた達成感など、生涯忘れることのできない貴重な経験が得られることでしょう。

特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン

花王・教員フェローシップ 生物多様性支援プログラム

プログラムの概要

支援内容

- ① 海外野外調査プロジェクトの研究分担金(参加費約25万円)
(調査期間中の食費・宿泊代・移動費を含む)
- ② 参加にかかる費用の補助 10万円
(渡航費、装備品購入費、査証代など使途自由)

野外調査プロジェクトの内容と現地活動期間

生物多様性に関する下記プロジェクトの中から選択(各2名)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ○ノバスコシアの哺乳類 | 7月28日～8月3日(7日間) |
| ○南アフリカのペンギン | 7月29日～8月9日(12日間) |
| ○ブラジルの野生生物とその回廊 | 8月3日～8月14日(12日間) |
| ○コスタリカのクジラとイルカ | 8月4日～8月10日(7日間) |
| ○モンゴルの大草原の野生生物 | 8月4日～8月17日(14日間) |

支援に含まれないもの

日本国内交通費、現地集合場所までの渡航費を含む交通費・食費、海外旅行保険代、査証(ビザ)申請費用、調査中の個人経費(電話・洗濯等)、活動外の実費(観光・土産等)等

参加者にいただくこと

- ① 集合場所までの交通の手配、査証の取得、予防接種など。
- ② 出発までに義務付けられている書類の提出。
(英文の参加申込用紙、健康証明書、免責承諾書、旅程表)
- ③ 野外調査に参加し、研究者の指示に従って作業に従事する。
- ④ 帰国後1か月以内に体験報告書を提出する。
- ⑤ 学校(および、できれば地域(他校など))での報告会の実施。
- ⑥ プロジェクト参加報告会への参加。(10月頃、東京にて開催予定)

体験を通して得られるもの

- 野外調査の実体験
- 専門家による調査テクニックの習得
- 他国の参加者やスタッフ等との国際文化交流経験
- 科学の専門家や異業種の人々とのネットワーク
- 国際的なグループ活動での協調性の大切さ
- 非日常体験の困難を克服する達成感

その他

- プロジェクトは現地集合・解散です。プロジェクト日程だけでなく、前後のフライトの日程も合わせて計画してください。
- プログラムは全て英語で行われますので、日常会話程度の英語力は必要です。
- 調査活動はおもに、大自然の中での野外活動です。
- プロジェクトは変更あるいは中止になる場合があります。

応募要項

募集対象者・募集人数

小学校、中学校の教員(担当学年、科目を問いません)10名

応募方法

所定の応募用紙(添付)に必要事項を記入の上、論文を添付し、下記へご送付下さい。郵送、メールのいずれでも可。

<論文>

テーマ:「学校教育の現場で環境教育を進めるうえで、自然観察や自然体験がどのような意味があるか」と考えるか。
現在ご自身が学校で実践していること、プロジェクト参加後その体験をどのように学校・地域で実践したいかについて具体的にお書き下さい。

字数:1000字～1200字(A4縦用紙横書き)

- 応募期間: 2013年3月1日～4月10日(当日消印有効)
- 応募先: アースウォッチ・ジャパン 花王・教員フェローシップ係
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学大学院農学生命科学研究科
フードサイエンス棟4階
Tel:03-3511-3360 e-mail:info@earthwatch.jp

選考の方法と期間および結果の通知

- 花王・教員フェローシップ選考委員会において書類選考を行い、応募者に対して、選考結果を文書にて通知します。
- 選考会は、2013年5月上旬に実施します。

<選考委員>

委員長 石田 秀輝(東北大学大学院 環境科学研究科 教授)
委員 今井 通子(登山家)
小林 俊介(アースウォッチ・ジャパン 理事)
平峰 伸一郎(花王株式会社 執行役員
コーポレートコミュニケーション部門統括)

応募後のキャンセルについて

万が一、参加が不可能になった場合には、速やかに事務局までご連絡下さい。

2013年実施プロジェクト一覧

各プロジェクトの詳細は、アースウォッチ・ジャパンHPをご覧ください。
<http://www.earthwatch.jp>



ノバスコシアの哺乳類 – Mammals of Nova Scotia –

哺乳類の個体群をモニターし、
 気候変動や他の環境変化が引き起こすと思われる影響を解明する調査

【現地活動期間】7月28日～8月3日(7日間)

【調査地】カナダ、ノバスコシア、サウスショア地域

【ボランティアの役割】森林や牧草地、湿地や長く伸びるビーチなどから成る多様な環境で、様々な方法を駆使して野生動物のモニタリングを行います。

【宿泊施設等】サウスショアの伝統的な宿泊施設に滞在します。二人部屋で、共用のバスルームがあります。地元の特産品も含めた栄養たっぷりの食事が用意されます。



南アフリカのペンギン – South African Penguins –

世界で2番目に大きいケープペンギンのコロニーがある
 世界遺産登録地域で生物多様性の保護に協力する調査

【現地活動期間】7月29日～8月9日(12日間)

【調査地】南アフリカ、ロベン島

【ボランティアの役割】ペンギンや海鳥の繁殖成功率と生存率を調査し、ペンギンの個体識別を自動で記録するという革新的装置の準備を手伝います。

【宿泊施設等】ペンギンのコロニーから歩いてわずか15分の小屋に調査チーム全員で泊まります。チームメンバーでメニューを決め、調理と片付けを順番に担当します。



ブラジルの野生生物とその回廊 – Blazing the Biodiversity Trail in Brazil –

エマス国立公園周辺の農業地帯に生息する野生動物の生態を調べ、
 ブラジルの生物多様性を保護するための調査

【現地活動期間】8月3日～8月14日(12日間)

【調査地】ブラジル、エマス国立公園

【ボランティアの役割】訓練された犬と一緒に回廊を歩き、動物たちの痕跡を見つけ記録します。自動撮影カメラのセットや、動物につけた発信機からのデータを解析します。

【宿泊施設等】国立公園の中にある、電気や洗濯機もそろった川沿いの宿泊施設に泊まります。地元のコックが調理したブラジル料理を食べます。



コスタリカのクジラとイルカ – Safeguarding Whales and Dolphins in Costa Rica –

コスタリカのフィヨルドと雨林という大自然に囲まれて生息する
 クジラやイルカの保護のための重要な調査

【現地活動期間】8月4日～8月10日(7日間)

【調査地】コスタリカ、最南部オサ半島、ドゥルセ湾

【ボランティアの役割】全長8メートルのモーターボートに乗り、イルカやクジラの群れの大きさや構成、行動、位置などを観察して記録します。写真の分類や、個体識別用のIDカードの記入なども行います。

【宿泊施設等】ベッド、シンプルな家具、共同設備のあるエコロッジで共同生活を送ります。食事は典型的なコスタリカ料理で、ご飯、黒豆、肉、野菜、フルーツなどが出ます。



モンゴルの大草原の野生生物 – Wildlife of Mongolian Steppe –

絶滅に瀕している野生ヒツジの
 個体数減少を食い止めるための行動と生態の調査

【現地活動期間】8月4日～8月17日(14日間)

【調査地】モンゴル、ドルノゴビ・アイマグ、イフ・ナルティーン・チュロー自然保護区

【ボランティアの役割】各国の研究者とともに、大人のアルガリを捕獲し、テレメーター(無線追跡装置)を使って彼等の移動経路を地図に記入したり、行動観察やデータ収集などを行います。

【宿泊施設等】伝統的なモンゴルのゲルや小さなテントに宿泊します。食事の用意と後片付けは全員で分担します。体力に自身があり、ハイキングやキャンピングに慣れている必要があります。



特定非営利活動法人
アースウォッチ・ジャパン

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学大学院農学生命科学研究科 フードサイエンス棟4階
Tel: 03-3511-3360 <http://www.earthwatch.jp>

花王株式会社

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10
Tel: 03-3660-7057 <http://www.kao.com/jp/>